

【計画検討委員会の役割】

1. 目的 北本駅東口駅前広場シェルター整備の方向性を議論し、方針を定めること
2. 主たるテーマ
 - ① 東口駅前ロータリーについて現状の課題を整理分析し、利便性の高いシェルターの配置計画を決定する。
 - ② これからの北本市の東口の顔としてふさわしいシェルターデザインのコンセプトを検討し、提案されているシェルターのデザイン（案）の方向性を決定する。（A案 or B案、A案 and B案等）

1. 整備の目的

北本市では、「緑にかこまれた健康な文化都市」を都市づくりの目標としています。

また、北本市都市計画マスタープランの中では、北本駅を中心とする中央地域のテーマを「魅力と活力のある、北本市の“顔”づくり 中央」としています。

北本駅東口に至る都市計画道路中央通り線の整備も進み、北本駅東口駅前広場のさらなる利便性や快適性の向上が求められています。

すでに北本駅西口駅前広場にはシェルターの設置が完了していることから東口駅前広場にも利便性や快適性の向上を目指し、北本市の顔となる東口駅前広場を整備するためにシェルターの設置を行います。

2. 利用実態調査

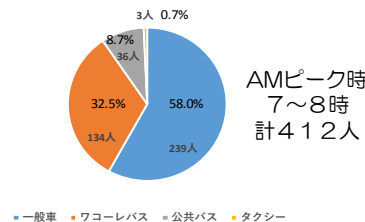
交通機関利用調査による結果

- ・利用は午前では7時～8時がピークとなり、午後では18時～19時がピークであった。
- ・午前午後ともに、一般車利用が最も多く、ついでワコーレバス利用、公共バス利用の順であった。タクシー利用は少人数であった。

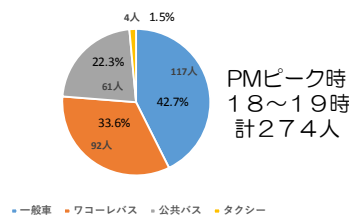
利用実態調査による結果、現状の課題・問題点を認識

- ・一般車が公共交通の中に分散配置され、交通混雑が発生している場所があった。
- 利用状況を分析し、バスのサイズ及び軌跡を十分検討の上、明確なゾーニングが必要と考えられる。

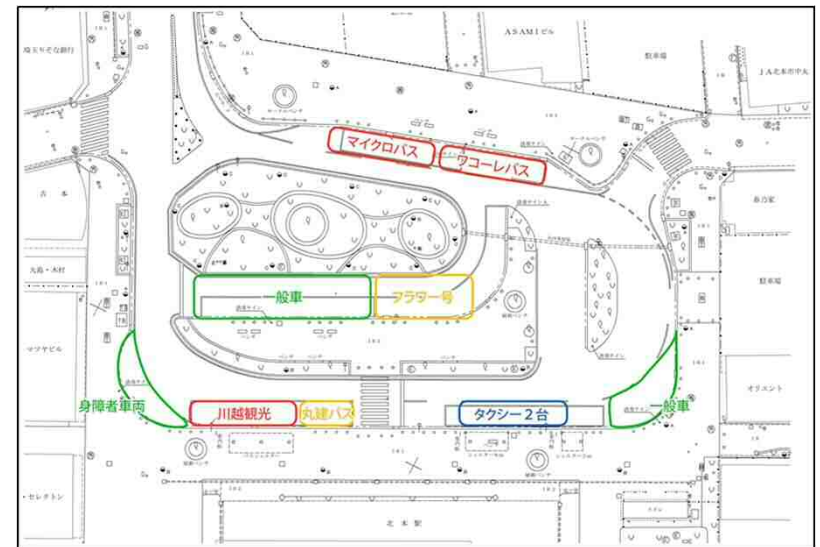
北本駅 東口駅に向かう人の交通手段①



北本駅 東口駅に向かう人の交通手段②



北本駅東口駅前広場 バス、タクシー及び一般車停留箇所（現況）



3. シェルターのデザインコンセプト

市の上位計画やまちのイメージから抽出したキーワード

- 緑にかこまれた健康な文化都市（都市づくりの目標）
- 自然環境と生活環境の調和
- 暮らしの隣にある様々なみどりを通じて自然に繋がる
- みどり豊かな自然と共生する持続可能なまち
- 自然に学び、恵みを楽しみ、いかすまち



北本市の課題

- 若い世代が魅力を感じるまちづくり
少子高齢化が進む北本市においては、若い世代が訪れ、住みたいと思えるまちづくりが必要である。隣接する他市との差別化を図りながら、北本市の個性を生かしたまちづくりを進める必要がある。

【キーワード】

自然環境との調和、機能的かつスマート、利便性が高く安心安全、モダンデザイン、お洒落、あたたかみのある、居心地の良い、オンリーワンのまちづくり、ガーデンシティ

東口広場の現況

- 隣接する他市の駅前広場にはない豊かな自然が残されており、この環境を活かした空間づくりを目標とする。

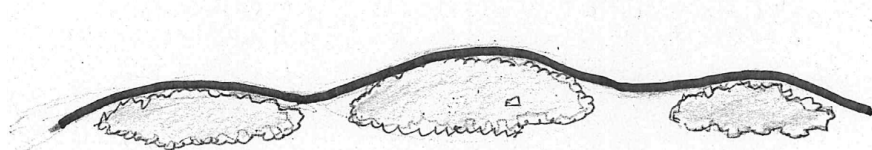


4. シェルターデザインについて

コンセプトに基づいて、自然やみどりをテーマに計画案を2案作成しました。

【A案】雲形

風や水の流れ、軽やかに浮かぶ雲を連想させる有機的な曲線が連なる形状。



イメージラフスケッチ



完成イメージ (遠景1)



完成イメージ (遠景2)

【B案】樹木

既存の樹木や豊かな自然環境との調和を念頭に、柱を幹に、梁を枝になぞらえ、大きく枝張りした様を屋根で表現する。樹木や林のような形状



イメージラフスケッチ



完成イメージ (遠景1)



完成イメージ (遠景2)

5. シェルター配置

- ・ 駅利用者がどんな交通手段で駅を利用しているかを把握するため、利用実態調査を実施しました。
- ・ 調査データを基に、シェルターの配置について検討しました。他市の事例及び経済性を考慮して配置計画を行いました。
- ・ シェルター設置を中心に考え、広場形状は極力変更せず既存の施設を生かした計画とします。

①メインシェルター

乗降客が多いバス及びタクシー乗降場を集約したエリアに配置し、ゆったりとしたスペースを確保し、車道部へ張り出す形状としています。

また、階段及びエスカレーター上屋とのつながりを確保することで、乗降客が円滑にバス及びタクシーに乗れるよう配慮しています。単なる乗降スペースとしての機能だけでなく、賑わいを演出する小規模イベントも可能な空間づくりを目指しています。

②身障者シェルター

身障者がエレベーターからメインシェルターを利用してスムーズに安全に車へ乗降できるよう配慮しています。

③サブシェルター-1

一般車両専用の送迎利用を想定しています。

バス、タクシー等とのエリア分けをすることで、混雑の緩和と安全性の確保に配慮しています。

④サブシェルター-2

バスの乗降場及び臨時停留場等としての使用を想定しています。

